

“社会全体が支える豊かな森林づくり”を進めよう!



■表紙写真 題名：巨樹を測る 撮影場所：伊豆市天城山 撮影者：清野 博氏（三島市）



© 静岡県

INDEX

本誌はホームページでも掲載しております。是非ご覧下さい。URL：<http://www.morito hito.jp>

2 新任のご挨拶

3 平成22年度森林・林業関係主要予算

4 平成22年度森林・林業施策方針

6 林業関係組織図

8 告知版

▶平成22年度しずおか森林写真コンクール応募要領
▶「緑の募金」にご協力ください

8 事務局だより



この用紙は、間伐材を原料としております。

新任のご挨拶



静岡県 交通基盤部長

森山 誠二

今年度の定期人事異動により、交通基盤部長の職を拝命しました。前任者同様、御支援のほどお願いいたします。

社団法人静岡県山林協会の会員の皆様には、日ごろから、森林・林業に関する様々な事業を積極的に展開され、県土の保全、林業及び山村の振興、林業関係技術者の育成など多方面で貢献されていることに対し、深く感謝申し上げます。

さて、道路、空港、港湾、河川砂防、都市、農地、森林を所管する交通基盤部では、「富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくり」の実現をめざし、陸・海・空が連結する交通基盤の拡充、活力と潤いを生む都市機能と生活基盤の充実、元気な農林水産業を支える基盤の整備など、文字どおり、「ヒト、モノ、地域を結ぶ“基盤”づくり」に取り組んでいます。

なかでも、県土の67%を占め、県民共通の財産である森林については、守り、育て、活かすことで森林の多面的機能を発揮させる「森林との共生」を推進しているところです。特に本県の人工林は、全国的に高い水準で資源の成熟期を迎えていることから、これらを活かしながら、適切な管理をしていく必要があります。

昨年12月に新政権のもとで策定された「森林・林業再生プラン」では、10年後の木材自給率50%以上という目指すべき姿が示され、国の森林・林業基本政策もこの実現に向けて、抜本的に見直されることとなりました。本県としても、昨年度から着手している効果的な木材生産システムの構築をさらに進め、県産材の増産に取り組んでまいります。

具体的には、昨年度作成いたしました「静岡県集約化推進に係る基本方針」（平成22年3月1日）をもとに市町や林業事業体と役割を分担しながら施業集約化を進めてまいります。この集約化に必要な路網整備、森林管理の企画技術者の育成・定着、GISによる森林情報の質的向上などにも力を注いでまいります。

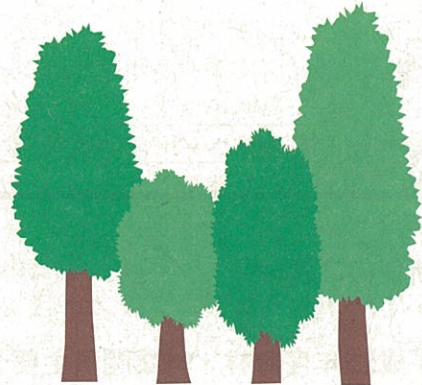
なお、県産材増産には需要と一体となった取組が必要であることから、経済産業部が行う加工流通体制の強化、品質の確かな県産材の需要喚起などと歩調を合わせて進めてまいります。

一方で、荒廃森林の再生を図る森の力再生事業の財源となっている森林（もり）づくり県民税については、課税期間が今年度で終了することから、県民の皆様には事業の成果、有効性をPRするとともに、様々な御意見をうかがいながら期間延長の是非について検討してまいります。

交通基盤部では、県民の皆様の視点に立ち、地域の皆様と一緒に基盤整備を進めていくことが重要と考えており、「いっしょに、未来の地域づくり」を基本理念としています。

「森林との共生」に関しても、県民の合意と連携のもと進めることとしており、森林県民円卓会議の開催や平成24年開催の全国育樹祭の開催準備を通じ、県民の皆様の機運醸成や参加促進を進めてまいりますので、今後とも会員の皆様の御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、(社)静岡県山林協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝を心から祈念いたしまして、新年度のあいさつといたします。



平成22年度森林・林業関係主要予算

(単位:千円)

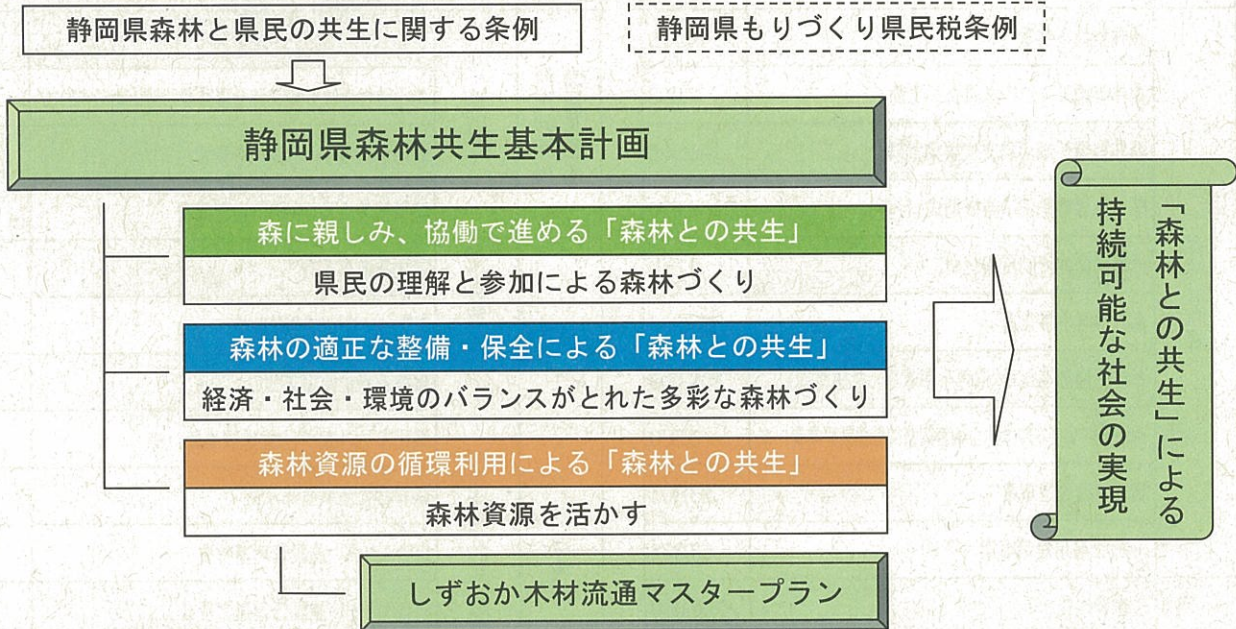
部局名	担当課	事業名	予算額	部局名	担当課	事業名	予算額
交通基盤部 森林局	森林計画課	森林整備事務費	45,779	交通基盤部 河川砂防局	砂防課	治山地すべり防止事業費	200,000
		森林資源モニタリング調査事業費	7,293			農山漁村地域整備交付金事業費(治山地すべり)※	46,000
		森林整備地域活動支援事業費	120,000			緊急治山地すべり防止事業費	65,000
		県単独森林整備事業費助成(付増)	33,030			県単独治山地すべり防止事業費	72,000
		林地開発許可制度実施費	2,540	環境政策課	緑化推進事業費	3,240	
		森の力再生事業費	982,000		グリーンバンク事業費助成	110,000	
		森林整備加速化・林業再生事業費(森林整備)	400,000		くらし・環境部 環境ふれあい課	環境教育推進事業費	17,187
		森林を守り育てる人づくり全国育樹祭開催準備事業費 ※	5,500			県民参加の森づくり推進事業費 ※	13,871
		緊急雇用対策事業	85,394			県有林管理事業費 ※	36,870
		ふるさと雇用対策事業	53,358			自然ふれあい施設管理運営費	17,088
	造林事業費	264,000	自然ふれあい施設管理運営費Ⅱ			94,300	
	水土保全森林緊急間伐対策事業費助成	24,390	ふるさと雇用対策事業費			19,380	
	しずおか林業再生プロジェクト推進事業費	35,000	緊急雇用対策事業費		25,602		
	スギ等花粉発生源対策事業費	4,474	経済産業部 農林業局		林業労働総合対策事業費	3,210	
	県単独森林病虫害獣総合対策事業費	42,230		森林を守り育てる人づくり推進事業費助成	37,274		
	県営林道整備事業費	500,000		森林林業新規就業促進事業費	12,500		
	団体営林道事業費	255,000		林業労働者就労安定促進事業費助成	5,374		
	集落間林道整備事業費	90,000		しずおか木使い県民運動推進事業費 ※	9,630		
	県単独林道事業費	164,000		森林整備加速化・林業再生事業費(林業振興)	355,000		
	社会環境基盤重点林道整備事業費	196,000		林業を支える担い手支援事業費 ※	40,800		
	中山間地域林業整備事業費(山村道路網整備)	338,000		しずおか優良木材の家総合支援事業費助成	93,400		
	中山間地域林業整備事業費助成(生活環境)	1,000		林業・木材産業構造対策事業費助成	906,923		
	緊急雇用対策事業	20,788		中山間地域林業整備事業費助成(就業機会創出)	17,000		
	資源循環林地整備事業費	64,000		林業関係団体事業費助成	13,180		
	保安林整備事業費	13,908		林業振興総合推進費	14,617		
	治山事業費	1,384,000		緊急林業担い手雇用創出事業費 ※	26,700		
	緊急治山事業費	501,000	しずおか新規林業チャレンジ事業	1,600			
	林地崩壊対策事業費	3,000	間伐材搬出奨励事業費助成	120,000			
	県単独治山事業費	986,000					
	国直轄治山事業費負担金	322,000					
	緊急豪雨対策事業費	50,000					
	森林整備課 森林保全課	農山漁村地域整備交付金事業費(森林)※	2,153,000				

◇※は、平成22年度新規

◇農山漁村地域整備交付金事業費(森林)は、治山(1,338,000千円)、造林(184,000千円)、県営林道(575,000千円)、団体営林道(6,000千円)

平成22年度森林・林業施策方針

●森林・林業施策の位置付け



●平成22年度森林・林業施策の重点化項目

ゴシック体は新たな取組等で裏面参照

1 資源を活かした森林整備の促進と全国への発信 ～静岡らしい全国育樹祭の推進～

- ☀️ **全国育樹祭の開催準備** 基本計画作成、大会テーマ・シンボルマークなどの募集、情報発信

2 社会全体が支える森林管理の仕組みづくり ～県民の、県民による、県民のための森林づくりへ～

- ☀️ **双方向で視覚的な森林情報の共有** 森林情報共有システムによる情報の発信と質の向上
- ☀️ **県民による合意形成と連携した取組の促進** 森林県民円卓会議の開催、白書を活用したPDCA
- ☀️ **県民や企業による森づくりの促進** 森づくり県民大作戦、しずおか未来の森サポーター制度等
- ☀️ **森林環境教育の推進と県民参加の森づくりの促進** 遊木の森、榛原ふるさとの森での森林環境教育等
- ☀️ **県立森林公園等での自然とのふれあい促進** 県有施設を活用した自然とのふれあいの推進

3 安心・安全な県土の保全 ～森林の公益的機能の持続的発揮と災害の防止～

- ☀️ **森林づくり県民税による荒廃森林の整備** 森の力再生事業
- ☀️ **保安林機能の持続的発揮** 森林所有者等による保安林整備の促進、協働管理手法の展開
- ☀️ **優先度を明確にした治山事業の推進** 緊急豪雨対策、住民参画による減災対策、既存施設補強等コスト縮減
- ☀️ **松くい虫被害の徹底的・効果的な防除** 海岸防災林等の重要な松林の徹底防除と管理道の整備
- ☀️ **野生鳥獣との共生** 希少野生動植物の保護と豊かな生態系の保全
- ☀️ **県営林管理基本計画の推進** 管理運営規模の段階的縮小、返還後の支援等

4 県民の様々な期待に応える多彩な森林づくり ～環境・景観に配慮した森林造成と自然環境の保全～

- ☀️ 花粉の少ないスギへの品種転換・地域に適した広葉樹の選定 花粉対策苗への全量切替に向けた採種園整備
- ☀️ 自然環境財としての森林づくり 県有林管理事業等

5 森林・林業を支える人づくり・地域づくり ～森林・林業の担い手確保と技術・技能の向上～

- ☀️ 林業経営体・林業事業体の経営支援 林研グループの活動支援、雇用管理改善と事業の合理化を推進する林業事業体への指導等
- ☀️ 林業技術者の就労支援 新規就労促進、就労環境改善支援等
- ☀️ 優れた技術者の確保 森林管理の企画力のある人材と現場作業を担う人材の育成
- ☀️ 山村地域の道路網や生活環境基盤の整備推進 中山間地域林業整備事業等

6 効率的な木材生産システムの構築(川上) ～「育てる」から「活かす」へ～

- ☀️ 生産に適した森林の選択 森林所有者との合意形成、施業に不可欠な地域活動の促進
- ☀️ 効率的な作業システムの普及 施業を集約化した森林への重点的な投資
- 利用間伐に重点を置いた森林整備の促進 造林事業等
- 林道・作業道整備の推進 高性能林業機械等の稼動に配慮した災害に強い路網の整備
- 機械化等の促進 しずおか林業再生プロジェクト推進事業等
- 資源の活用を促す生産奨励 間伐材搬出奨励事業
- ☀️ 重点地域での生産体制の構築 素材生産が少ない地域（賀茂、北駿、大井川）を重点化

7 製材加工体制の整備と県産材流通体制の強化(川中) ～生産規模の拡大と新たな流通の確保～

- ☀️ 製材・加工体制の整備 量産工場整備計画策定支援、工場間連携構想策定促進
- ☀️ 県産材流通体制の強化 直送等新たな流通体制整備支援、原木仕分機能強化支援等

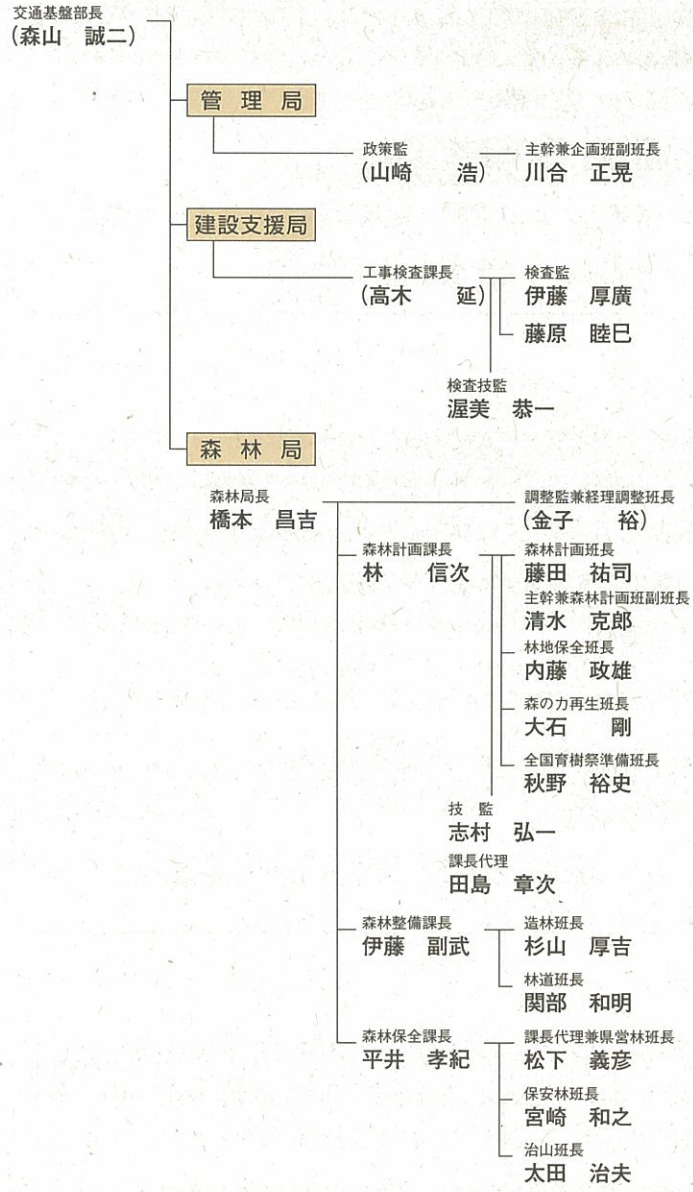
8 森林資源の需要の拡大(川下) ～県産材と特用林産物の需要拡大～

- ☀️ 民間部門での利用拡大 合板等へのしずおか優良木材認証制度の適用拡大、住宅産業連携等
- ☀️ 公共部門での利用拡大 公共部門の利用拡大
- ☀️ 特用林産物の生産振興 安全・安心な品質確保への取組促進

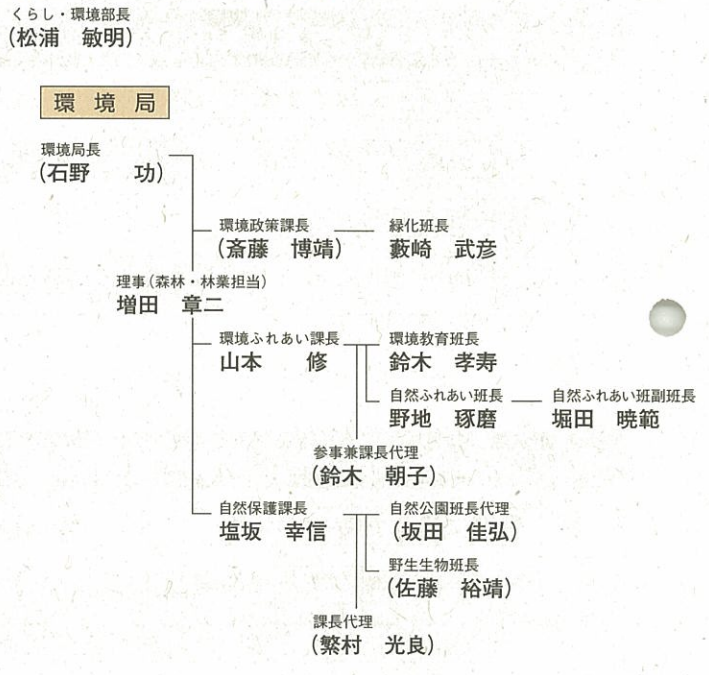
林業関係組織図

＝ 本 庁 関 係 ＝

交通基盤部

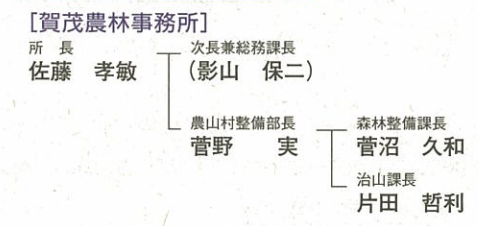


くらし・環境部

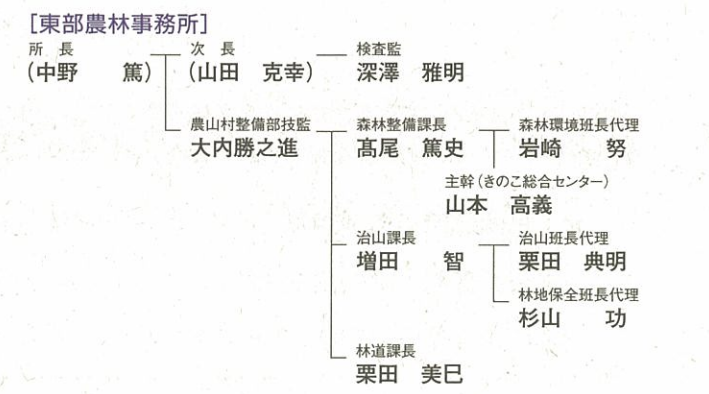
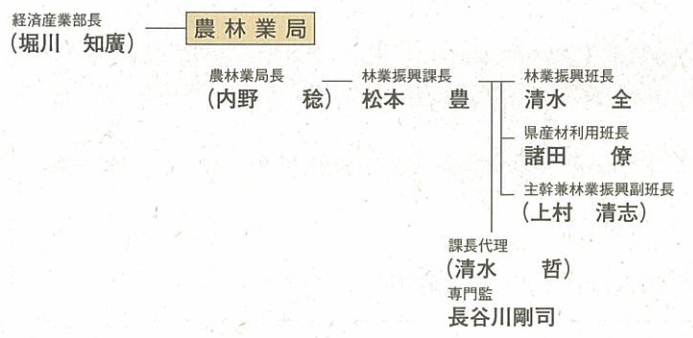


＝ 出 先 関 係 ＝

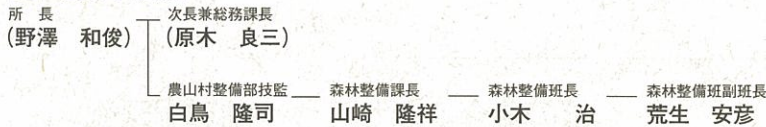
経済産業部



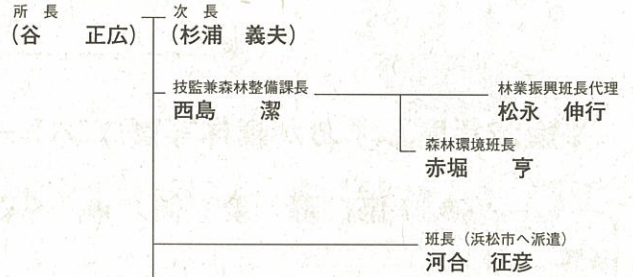
経済産業部



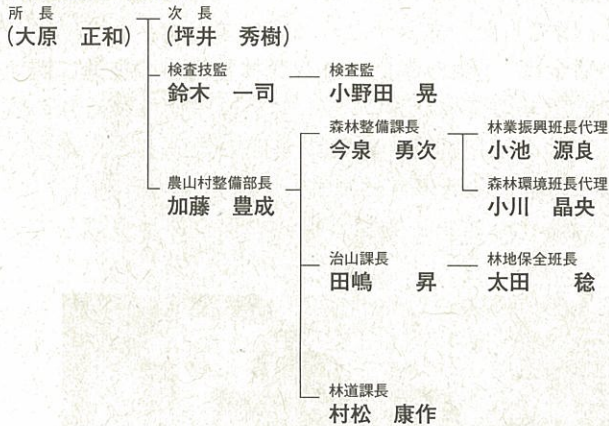
[富士農林事務所]



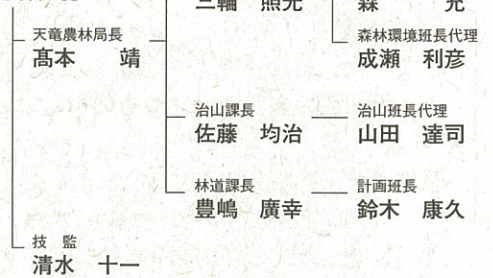
[西部農林事務所]



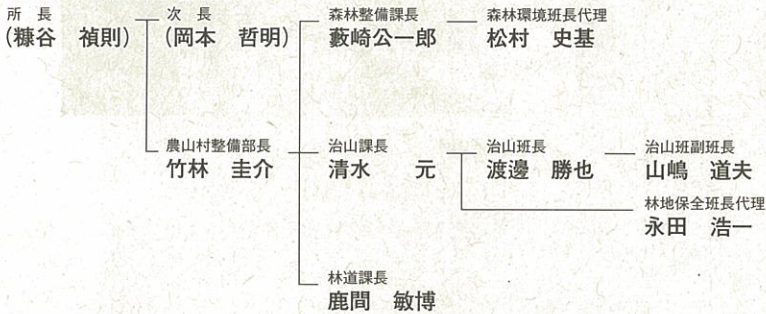
[中部農林事務所]



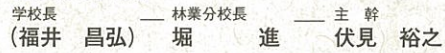
[天竜農林局]



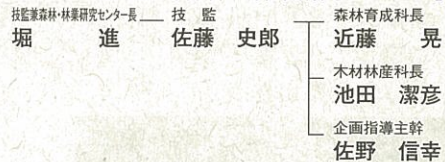
[志太榛原農林事務所]



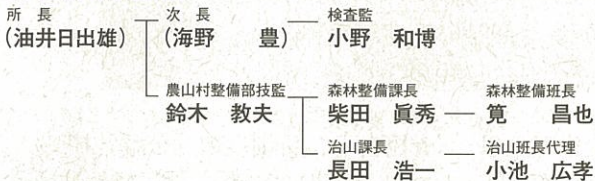
[農林大学校]



[農林技術研究所森林・林業研究センター]



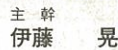
[中遠農林事務所]



[賀茂地域支援局]



[東部地域支援局]



注) ()は林業職以外

経営管理部

☆☆☆退職された皆様☆☆☆

長い間ありがとうございました今後とも御指導をお願いします。

- | | | | |
|-------|------------------|-------|------------------|
| 熊崎 実 | 県民部 理事 | 山田 昭治 | 西部農林事務所技監兼森林整備課長 |
| 菊地 昌久 | 森林・林業研究センター長 | 石間 誠 | 西部農林事務所天竜農林局長 |
| 松波 通安 | 中部農林事務所農山村整備部長 | 糟谷 好博 | 農林技術研究所技監 |
| 平野 鉄雄 | 中部農林事務所治山課長 | 土屋 明 | 工事検査室技監 |
| 藤田 延久 | 志太榛原農林事務所農山村整備部長 | 岩間 一秀 | 工事検査室検査監 |

告知版

平成22年度しずおか森林写真コンクール

応募要領

★題材

静岡県内の森林に関わる作品で、「森林の景観」、「林業・木材産業で働く姿」、「森林整備や森林土木工事の状況」、「森林体験やリクリエーションの様子」及び「森林と一体となった山村や生活の風景」など森林や林業の素晴らしさ、大切さの啓発に役立つものを対象とします。

★賞

最優秀賞 (静岡県知事賞)	1点	賞状、賞金5万円
特選 (社)静岡県山林協会賞	2点	賞状、賞金3万円
準特選 (社)静岡県山林協会賞	5点	賞状、賞金1万円
入選 (社)静岡県山林協会賞	20点	賞状、賞金5千円

★応募規定

- ① 作品は、平成21年9月以降に静岡県内で撮影した未発表作品に限ります。
- ② サイズは、カラー・白黒プリント四つ切。
- ③ 作品の裏面に応募票を添付して下さい。
- ④ 入賞作品、原版等の著作権は、主催者に帰属します。

★締切 平成22年8月31日(火) (当日消印有効)

★提出先 主催者又は静岡県写真材料商組合加盟店

★主催 (社)静岡県山林協会



事務局だより

★真新しいランドセルが大きな一年生や、緊張の面持ちで職場に急ぐ新社会人を目にする候となり、社会のサイクルがまた一つ動き出しました。

また、昨年的一年生や新社会人は、この一年間で周りの環境にすっかり馴染んで、頼もしさと後輩を得た嬉しさを醸し出しています。

毎年同じように迎える春ですが、山の木々も年輪を一つ重ねて確実に太り、活用されることを待ち望んでいることでしょう。

★富士流域では、木材自給率50%以上を目標に掲げた「森林・林業再生プラン」のモデル実践地域に応募して、欧州並みの生産性の高い林業の実現を目指して、新たに動き出しました。関係者の英断にエールを送ります。

新年度に向けて、県は、農山村地域整備、木使い県民運動推進、担い手支援などの新規事業を立ち上げましたが、市や町の皆様も、どの様な新しい施策を始めるのでしょうか。期待に胸が躍ります。

★協会も、新制度の「公益社団法人」の認定取得に向けて、新定款の起草や申請事務に本格的に取り掛かります。

また事務局では、雇用改善アドバイザーの後藤春雄様が退職されました。後藤様、永い間、御苦労さまでした。そして、担い手部長の戸塚喜雄氏が雇用改善アドバイザーに就き、新たに菊地昌久氏を担い手部長に迎えましたので、宜しくお祈いします。

(小松)

緑の募金でふせごう 地球温暖化 「緑の募金」にご協力ください

平成21年度に皆様からお寄せいただきました募金は、86,165千円でした。ありがとうございました。

緑の募金は、「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、ボランティアが行う森林づくりの支援、学校林の活用促進、緑の少年団の育成など、森づくりや緑化の推進に活用されます。

地球温暖化の防止や生物多様性の保全にも貢献しています。



募金期間

平成22年3月15日～5月31日

平成22年9月1日～10月31日

(社)静岡県緑化推進協会

〒420-8601

静岡市葵区追手町9番6号 静岡県庁西館9階

TEL054-273-6987・FAX054-273-6990

E-mail s-green@shizu-green.or.jp

http://www.shizu-green.or.jp

「森と人」
編集・発行

社団法人 静岡県山林協会

静岡市葵区追手町9-6 県庁西館9F

TEL:054-255-4488/FAX:054-255-4489